



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享庸

出席報告：会員数 74名 出席 57名 出席率 77.03% 前回出席率 77.03% 修正出席 62名 確定出席率 83.78%

四つのテスト

- ㊟ 真実かどうか？
- ㊟ 好意と友情を深めるか？
- ㊟ みんなに公平か？
- ㊟ みんなのためになるかどうか？

会長報告

川村 徳男 君

1. ハイライン君のお父さん、多分お母さんも、5月6日から12日までの1週間、鶴岡においてになる予定のようです。その間、例会に出て頂いたり他の関係団体とも相談して歓迎したいと思います。
2. 次の例会までの行事
 - (1) ロータリー関係の行事

地区のI・Aの研修バス旅行が14日～16日の3日間行なわれますが、当クラブのI・A・Cからは参加申込みがありませんでした。

15日は、分区の会長・幹事会が湯田川で行なわれます。
 - (2) 一般の行事

14日は聖バレンタインデーです。10日の日曜

日にスーパーに行きましたら、バレンタインデーをねらったチョコレートだけの、割と広い売場が設けられていて、四人の店員が忙しく応待しているのに驚きました。

15日～17日は黒森歌舞伎が公演されます。

幹事報告

迎田 稔 君

- 会報→回覧中
 - ・山形西R.C.
 - ・山形R.C.
 - ・東京R.C.
- 年次大会のご案内

264地区 堺R.C.
- 例会場変更

米沢西R.C.

新会場→ニュージャランド北陽

ゲストスピーチ

自立の出来る人間をつくる

鶴岡市教育長 生田 謹 吾 氏



教育110番の事業が実施され、その成果をみせていただきましたが、こちらの方でも色々問題があるものだなあと驚いています。

教育委員会に入る前は朝陽第3小学校におり、教育

は地域と密接な関係にないとできないとの考えからテレホンサービスを設置して学校の様子をお知らせしていました。その後一年を経過してたいへん成果があったので、一方的サービスでは教育は片手落ちではないかと思い、ご父兄の方々から学校への意見を聞こうと思い、アンサホン置いて両方の意志の疎通をはかって来ました。

庄内空港の建設を推進しましょう

最近心を痛めてる事は、児童・生徒の非行問題、問題行動といったことで、鶴岡市では以前あった様な校内暴力的な、ものを壊したり、先生をどうしたというようなことは皆無に近い状態で、大変ありがたい事だと思っています。これは先生方もさることながら、地域の方々が一丸となってあの会、この会という様に血まなこになって、ご協力いただいている社会教育すべてに現われて来ているのではないかと思います。ただこれが、報道にもあったように、件数は減っているのですが、必ずしも樂觀できる状態ではないのです。先生をなぐり殺したり、いじめが原因で自殺した中学生がいたということを知りにつけ、さて自分の方はどうなんだろうと非常に心配しています。先生方に聞きましても、表ざたにならないまでこぎつけたということで、暴力的なことはなくなったのですが、陰湿な例えば、トイレの中でタバコの火を体につけられたとか、便器をなめさせられたなどというのを聞くにつけても、表に出てこなくて、底にそういうかげでというのは大変問題ではないかと思います。

この地方で、せめてその様な問題がなくなる様に先生方をお願い申し上げている所です。

非行の原因はなんだろうとよく聞かれます。この間は総合計画文教部会で「非行問題が直接的には落付いているようだが、こうその問題が出てくる原因は一体なんなのか」という質問を担当者から受けました。私は別の立場で、放談会なら率直に「わかりません」と答るのですが、そういう席で、教育長という立場でただ「わかりません」という答弁はできなかったの、「正直に言えば私もわからないのが実態です。しかし、わからないのではこと済まないの、一生懸命努力している所です」と話しました。「教育委員会ともあろうものが、原因がわからない。原因がわからなければ治療のしようがないではないか。だから非行が絶えないのだ」とおしかりを受けました。

単一要因で非行はおこるものではなく、複雑どころか多くの要因、要件があって背景があって、こ

んなふうになっていると考えると、みんな血まなこになって、あれが原因ではないか、こうやるのが良いのではないかという風な努力をしているのが現実態であると私はおさえているのです。

今の子どもはみんなそれ程悪い子どもかというところは思っていないのです。とんでもない、子どもは確かに1割なり5%なり3%なり、若干おることは事実ですが、それからかきまわされているというのが残念なのです。先生方もそういう少数の指導とするということも大事にしていかなければいけないのですが、他の千名の子どもを見逃してはならないということも先生方にお話し、お願いしております。

非行は今に始まったのではない点もあるのではないかと思います。私も子どもの頃はとんでもないたずらをしたり、さしずめ今でいえば問題児童であったのではないかと思います。私は自分のところに水を引くわけではないのですが、今の子ども達にはネジ、底になる基盤になるものがないのではないかと思います。そのために何かちょちょっと誘われたり、自分の悪の心が出て、芽を出したりすると簡単に引っかかってしまう。こういうことは今の子ども達もやってはいけないということを知ってはいるのですが、簡単につられてしまうということは、根になる基盤になっているのがないのではないかと。これは以前ですと家庭における教育というものが基盤になっていたのではないかと思います。そんな風にいいますと、今は家庭が悪くて学校が良いのかということになるのですが、そういうわけではないのです。私は一時期中学校で問題行動が報道されていた時、中学校の先生方が随分いじめられました。「今の中学の先生方は一体何をやっているのか、専門家ではないか。月給もらって何やってるのか」など、随分非難を浴びたのです。そうしているうちに、いや、中学に来る以前にうまくないのではないかと。例えば躰の面をみても小学校、中学校、高校まで同じ目標なんだそうです。呼ばれたら返事をしなさい。職員室に入る時にはノックをしてから入りなさい。わかったら「はい」といいなさい。廊下を走らない

で下さい。という風に、小学校のネライ、中学校でのネライ、高校のネライが同じだといわれています。色々な面をみても小学校でやるべきことをやってこないからだ、小学校の先生が一番悪いとなったわけです。ところが、小学校の先生方は、捕まった人は小学校の時は実にりっぱだった、中学に行ってからなったのではないかと。私はこういうことを言ってきたつもりです。中学校の先生方は小学校がどうだのこうだのということなしに、中学校の現状をみた時私達として何をしなくてはならないかということを実験に考えるべきではないか。小学校も、中学校に行ってから悪くなったとか、小学校の時は良かったということ事体まちがいではないのか、甘いのではないのか。というのは、小学校の時はハチ博士で朝から晩まで一人の子どもをずうっと一人の先生が見ているわけですから、私が一番良くわかっていると思うこと事体がわからないことに通じているのではないのか、いいかえれば、あの子どもはいいことをする子どもだ、あの子どもは悪い子だとわかりすぎて決めつけやすいのではないか。だから中学校から照会が来ると、あの子どもがそんなことする子どもではなかったのにと、すぐに出てくる。それではいけない。小学校では一体何をしなければいけないのかもっと真剣に人のことをいわずに考えるべきではないのか。同じようなことをご父兄にも申し上げます。ご父兄たちも同じで、小学校の先生よりも、おしめから全部子どもをみているし、私の性格とかおやじの性格を合わせて自分の子どもの性格ぐらいは小学校の先生より良くわかっている。貴女方より私の方が良くわかっているから、貴女方のいっていることよりも私のいっていることの方が正しいのだという考えがあるのではないかと。だからちょっと何かをいわれると反発する。ところが、ご父兄の方々もわかっているはずなのにとということ事体がわかっていないのではないかと。だから中学校で何かした時に捕えた生徒のご父兄を呼びますと、「オライの子どもに限ってそういうことはないはずだ」と、必ずいうそうです。現に子どもを捕えておりますので、

「いや、これは家の子どもが悪いのではなく、その隣りにいる友達に誘われたからだ」というのが多いのです。そんなことを考えても、私は三者、小学校中学校、そして家庭、もう一つは社会も自分の子どもだという考え方で、それぞれ何をなすべきかということをしっかり押えて指導していくことが大事ではないか。それと同時にお互い連繫を深めていくことが大事なのではないかと思えます。

ある学者が最近の子どもの傾向、性格というものをたいへんおもしろく表現しておりましたので、書きとめておきました。

最近の児童生徒の傾向

① 自己抑制欠乏性

自己をおさえることができない、がまん強さがない。

② 内省不感症

さっぱり反省もしなければ、自分がどうのこうのということを考えていない。

③ 欲求肥大症

なんでも欲しがる子

④ 精神的栄養失調症

共鳴、共感するということができない。大部分の生徒はそんなことはないが、傾向としていえるのではないかと。

⑤ ルール感覚欠乏症

12月の中頃出ました『青少年白書』を見てみましたら、本来水平関係ではない親、教師等に対しても友人と同様の関係を求める。例えば学校の先生方も気をつけなければいけない、遊んでいる時「おーい先生」「なんだい」とすぐ友達のように、前の文部大臣が中曽根首相と仙台の学校を訪れた時に驚いた。先生方と生徒が兄弟の様であった。一体これをどこでどう教育するのか、指導するのがいいのかということを感じたといっています。親でもそうです。水平関係であってはならない師弟、親子という縦の関係にあるべき人にも水平関係でなければ承知しないというのが最近の子ども達であるといわれている。

制約的、規範的要素を求められる場合においてもすべて友人関係で対処するという傾向がある。これは甘えの要素だといっています。私的生活への嗜好が大変強くなっている。社会への参加意欲がなくなってきた。自国の役に立つことをしたいという調査で、アメリカでは8割の青少年が自分の国のためにしたいというのですが、日本では4割しかないそうです。自分のことは考えるのですが、社会のためにということとは少なくなってきたのではないかと、将来を担う青少年であるので、社会的役割を

十分認識して積極的な社会参加の意識をのばしていきたいと思っています。

自立する力のある人間を育てていきたいものだ。寄りかかることばかりが一人前で、今のような子どもは競争の激しい社会に出た時にどんな生活、社会参加ができるものだろうと大変疑問です。それに参加しえず脱落すると、ノイローゼになったり、自殺したりということになりかねないと思う時に、やっぱり自立する、自分でやれるという人間になるような子どもに育てたいと思っています。

I・C・Mの報告

佐藤 順治 君

去る9日、福島県原町市において開かれましたI・C・M（都市連合懇談会）に次期幹事の秋野忠さんと2人出席して参りました。

13時より14時迄I・C・M、14時30分より16時迄がバナー・ノミニー歓送会でありました。その中で、松永ノミニーの言われた事を一寸申し上げてみたいと思います。

先づ、国際協議会は従来5月頃でしたが、今年度より3ヶ月も早くなりました。それは、自分の年度のための勉強に充分時間をかけられるためだそうです。

次に、去年7月1日斎藤がバナーが就任されました直後から大変勉強され、近くは11月23日に仙台でノミニーの研修会、12月10日には東京でノミニーの勉強会、1月25日には東京でノミニーの細部に亘る勉強会等々、猛勉強の連続であったそうです。何はともあれ、皆さん応援が何よりの支えになるので、よろしくお願ひしたいとのことでした。

尚、ノミニーご夫妻は2月18日出発されまして、約2週間の勉強を終えられ、3月6日帰国されるそうです。

次期役員について

佐藤 順治 君

○次期理事

佐藤 順治 (会 長)
吉野 勲 (副 会 長)
山口 篤之助 (会長エレクト)
板垣 広 志 (職業奉仕委員長)
小池 繁 治 (社会奉仕委員長)
高橋 良 士 (国際奉仕委員長)
丹下 誠四郎 (青少年奉仕委員長)
川村 徳 男 (直前会長) 8名

○次期理事会

上記8名の他
秋野 忠 (幹 事)
斎藤 正治 (予定) (会 計) 10名

○次期役員会

会長、副会長、会長エレクト、幹事の他
(会 計)
阿蘇 司 朗 (S・A・A)
松田 士 郎 (副 幹 事) 7名

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 児玉光弥君
野口 弥君

ス マ イ ル

な し

(今週の担当者 福島三郎)